

社会基盤工学専攻井合研究室修士二年 増田達

アメリカ合衆国、ワシントン州立大学ワシントン大学に6か月の留学をしました。ワシントン大学はシアトルにあり、イメージとしてはイチロー選手が在籍したマリナーズの本拠地があり、またスターバックスの発祥地、ブルースリーのお墓があるなど考えられます。

私が一番気に入っていたのは町の環境です。港町ということもあり新鮮な食材を集めるマーケットに行くことも出来れば、その近くには高層ビル、商業施設があるダウンタウンがあり、バスに30分程乗れば自然豊かなワシントン湖を一望することができます。全米の住みたい町ランキングに入ることも納得です。全てが凝縮されているのですが、それでいて居心地の悪さを感じない素敵な町と私は感じました。

学業の方ですが、皆よく学びよく遊びます。僕が所属する地盤系グループには20数名の修士、博士課程の学生が在籍していますが、皆活発に授業に関する意見を交わし、自分の考えを教授にぶつけるなど活発です。土日は休みで週明けにはHow's your weekend?と研究の合間に会話を楽しまします。多くの学生は研究よりは授業の単位取得に力を入れていました。

私は自身の研究をイタリアから来ていた同じく修士号取得を目指す学生と共に行い、文化の違いを楽しみながら、指導教官の方も力を借り、最終的には学部生も含めた大勢の学生の前で自身の研究を発表し、質疑応答できたことがかけがえのない経験となっています。

このような環境で研究させていただいた全ての方々の支えに感謝します。ありがとうございました。